

タイトル: 神経科学の最先端を体験 Neuroscience2023

所属: 生命農学研究科 博士後期課程1年 大塚 裕記

出張先 ワシントン D.C.

出張期間 2023/11/10-17

出張目的 Neuroscience 2023 に参加しポスター発表をするため

【概要】

ワシントン D.C で行われた、Neuroscience2023 に参加しました。Neuroscience は Society for Neuroscience が主催する、世界最大級の神経科学学会です。今大会は3万人近くが参加しており、ポスター発表演題は約1万題ありました。研究者の他に多くの企業が参加しており、企業紹介ブースがすごく賑わっていました。

【所感等】

今回参加した Neuroscience2023 は神経科学の学会の中でも世界最大級のものであり、様々な国の研究者が参加します。これが初めての国際学会への参加であり、世界に自分の成果を発表する初めての機会でした。会場である Washington Convention Center に到着し、まず驚いたのはその大きさです。端から端まで歩くのに20分くらいはかかりそうな大きさで、その大きな会場は数えきれいなほどの参加者で溢れかえっていました。まるで街がまるごと会場になっているような規模感で圧倒されたのを覚えています。ポスター演題も1万題近くあり、私の発表に誰も来てくれないのではないかと不安になりましたが、何人もの方が足を止めてくださり、活発な議論ができとても有意義な学会参加となりました。また、会場にはとてつもなく大きい企業ブースがあり、各国の様々な企業が、神経科学研究関連の製品を紹介していました。一番驚いたのは、マウスの脳手術をするロボットです。私自身も脳手術を行うので、最先端の技術を前に驚くとともに、少し悔しい気持ちになりました。今回の学会は、最先端の技術、研究を実際に目の前で見ることができてとてもいい体験になりました。様々な国の研究者と交流し国際融合研究のアイデアもいくつか思いつきました。GTR の国際学会派遣支援のご協力があり、このような素晴らしい経験ができました。支援してくださりありがとうございました。

